

令和3年6月24日

富山県美術館「第13回世界ポスタートリエ ンナーレトヤマ 2021」第二次審査会の開催 について

富山県美術館では、企画展「第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2021」の入賞作品を決定する第二次審査会を、7月6日（火曜日）、7日（水曜日）、富山県美術館2階展示室にて開催します。

日時、会場等

日時：7月6日（火曜日）、7日（水曜日）午前10時～午後5時

取材される場合は、7月6日（火曜日）午後2時～3時の間にお願いします。

会場：富山県美術館2階（富山市木場町3-20 電話：076-431-2711）

第二次審査員（50音順）

浅葉克己（グラフィックデザイナー）

佐藤 卓（グラフィックデザイナー）

松永 真（グラフィックデザイナー）

三木 健（グラフィックデザイナー）

審査員略歴については、添付資料（PDF：146KB）（別ウィンドウで開きます）を参照ください。

部門と賞

A部門：紙媒体・テーマなし（既発表・未発表 不問）

B部門：紙媒体・テーマ「INVISIBLE」

U30 + Student部門：デジタル・テーマ「INVISIBLE」（30歳以下、学生であれば30歳以上も可）

賞の詳細は下記のとおり

グランプリ：(A)(B)両部門あわせて1点 賞金1,000,000円
金賞：(A)(B)両部門あわせて2点 賞金各500,000円
銀賞：(A)(B)両部門あわせて3点 賞金各300,000円
銅賞：(A)(B)両部門あわせて8点 賞金各100,000円
U30 + S.金賞：U30 + Student 部門より1点 賞金200,000円
U30 + S.銀賞：U30 + Student 部門より3点 賞金各50,000円
U30 + S.銅賞：U30 + Student 部門より10点以内 賞状授与

応募点数（64カ国・地域）

総応募点数：5,943点（A部門3,264点、B部門789点、U30+Student部門1,890点）

総入選点数：400点（A部門333点、B部門36点、U30+Student部門31点）

総応募者数：2,646名

審査結果発表および授賞式・開会式

令和3年7月9日（金曜日）午後3時～

受賞作品は、式典にて発表いたします。

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



第二次審査員略歴 (50音順)

浅葉 克己 (あさば かつみ)

1940年神奈川県生まれ。桑沢デザイン研究所、佐藤敬之輔タイポグラフィ研究所、ライトパブリシティを経て、1975年浅葉克己デザイン室を設立。以後アートディレクターとして、日本の広告デザインの歴史に残る数多くの作品を制作。代表的な仕事に、西武百貨店「おいしい生活」、サントリー「夢街道」、武田薬品「肉体疲労にAじゃないか」、ミサワホーム「ミサワ デザイン バウハウス」、イッセイミヤケ「ISSEY MIYAKE」「HOMME PLISSE ISSEY MIYAKE」のロゴなど。中国に伝わる生きている象形文字「トンパ文字」に造詣が深い。東京TDC賞、毎日デザイン賞、日本アカデミー賞最優秀美術賞、東京ADC賞グランプリ、亀倉雄策賞、紫綬褒章など受賞歴多数。

AGI会員、東京TDC理事長、JAGDA会長、東京ADC委員、桑沢デザイン研究所10代目所長、東京造形大学・青森大学客員教授、エンジン01文化戦略会議幹事、奥能登国際芸術祭クリエイティブディレクターなどを務める。卓球と書道は趣味の域を超える。卓球は六段の腕前。

佐藤 卓 (さとう たく)

1979年東京藝術大学デザイン科卒業、81年同大学院修了。株式会社電通を経て、84年佐藤卓デザイン事務所(現株式会社TSD0)設立。

「ロッセ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」のパッケージデザイン、「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」のグラフィックデザイン、「金沢21世紀美術館」「国立科学博物館」のシンボルマークなどを手掛けるほか、商品や施設のブランディング、企業のCIを中心に活動。また、NHK Eテレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」総合指導、21_21 DESIGN SIGHT 館長を務め、展覧会も多数企画・開催。

2018年には富山県美術館で『デザインあ展』を開催、同美術館の屋上に子ども向け遊具を設置した「オノマトペの屋上」のデザインも担当。

著書に『塑する思考』(新潮社)など。

JAGDA会長、東京TDC、AGI会員。

松永 真（まつなが しん）

1940年東京生まれ。1964年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。資生堂宣伝部を経て、1971年松永真デザイン事務所設立。PEACEのポスターをはじめとする一連の平和ポスター、ヒット商品のスコッティやカンチューハイ、ウーノなどのパッケージから、ベネッセ、ISSEY MIYAKE、国立西洋美術館などのCI計画、大ベストセラーとなった日本国憲法のブックデザインまで、グラフィックデザインを中心に幅広い分野で活躍中。正攻法でありながら、シンプルで鋭い衝撃力を持つデザインが注目されている。ニューヨーク近代美術館、ヴィクトリア&アルバート美術館、ピナコテーク・デア・モデルネなど国内外90カ所の美術館等に作品収蔵。ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞・名誉賞、毎日デザイン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、日本宣伝賞・山名賞、モスクワ・ゴールデンビー賞、イコグラダ大賞、N.Y.ADC 銀賞、紫綬褒章、亀倉雄策賞、原弘賞、東京ADC会員賞、旭日小綬章など受賞多数。AGI（国際グラフィック連盟）会員、東京ADC委員、JAGDA理事、日本デザインコミッティー理事。

三木 健（みき けん）

1955年神戸生まれ。1982年三木健デザイン事務所設立。話すようにデザインを進める「話すデザイン」と、モノやコトの根源を探る「聞くデザイン」で、物語性のあるデザインを展開。「気づきに気づく」をテーマに、静かな表現の中にエモーショナルなコミュニケーションを潜ませる仕事特徴的。近年、学びをデザインするプロジェクトAPPLEを展開。そのユニークな教育メソッドに注目が集まり、英・中・日・韓の4ヶ国語で書籍APPLEが上梓される。2015年から国内外の美術館、ギャラリーでAPPLE+展を巡回。それら一連の教育プロジェクトを背景にもつポスターで第18回亀倉雄策賞を受賞。2018年春、大阪芸術大学図書館内にAPPLEの常設展示室と教室を併設した「りんごデザイン研究所」開設。JAGDA理事、東京TDC、AGI会員。大阪芸術大学教授、大阪美術専門学校校長。